

【2018/06/01 更新】

2018 年度

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター研修(ACC 研修)

募集要項



1. エイズ治療・研究開発センター研修（ACC 研修）とは

エイズ治療・研究開発センター(AIDS Clinical Center: ACC)は、薬害エイズ訴訟の和解を受け、HIV 感染症に関する恒久的な医療提供の中心的な役割を担うべく、1997 年国立国際医療センター(当時)内に設置され、臨床、研究、情報提供、研修の4つの主な機能を有しています。

ACC 研修は、HIV 感染者の診療・看護等の実務を担う医療従事者の育成、および全国ネットワークの構築を目的に毎年開催している研修です。2018 年度は以下の7コースを開催します。

1週間コース／歯科コース(年4回開催)	
【概要】	講義、専門外来・病棟等における実習・見学、さらに当事者との対話を通じて患者理解を深めることができる、専門的な研修です。
【対象者】	現在の勤務先医療機関等において、HIV感染者の診療(歯科診療)や対策に携わる実務担当者(予定を含む)等で、研修修了後も継続的に実務担当者、指導者として携われる者。
【募集人数】	<1週間コース(5日間)> 医師:6名、薬剤師:4名、看護師:4名(1回あたり) <歯科コース(3日間)> 歯科医師:3名、歯科衛生士／歯科看護師:3名(1回あたり)
短期コース(年5回開催)	
【概要】	疾患の基礎について短時間で学ぶためのコースです。 ※ 第1回～第4回は、1週間コースの前半2日間と合同で行われます。 ※ 第5回は「HIV感染症研修会」(国立病院機構本部主催)と合同開催です。
【対象者】	診療経験に乏しい、あるいはこれから初めてHIV感染症診療に携わる医療従事者
【募集人数】	全職種:計20名(1回あたり)
アップデートコース(年1回開催)	
【概要】	直近数年間の情報(治療ガイドライン・新規薬剤など)に絞って、効率的に知識をアップデートするためのコースです。
【対象者】	既にHIV感染症診療に携わっている医療従事者 (HIV感染症に関する知識と実務経験を有する前提で講義が行われます。診療経験のない方は、「短期コース」や、各拠点病院が主催する基礎的研修の受講をご検討下さい)
【募集人数】	全職種:計40名
1ヶ月コース(コーディネーターナースコース)(年1回開催)	
【概要】	コーディネーターナースとしての実務に関して学ぶコースです。はじめの1週間は1週間コースと同一内容で、続く3週間でコーディネーターナース業務(患者教育、相談対応に必要な連携・調整)に特化した研修を行います。
【対象者】	「ウイルス疾患管理料2」の加算を算定できる(あるいは今後施設基準要件を満たすことが見込まれる)医療機関の施設長が推薦するHIV感染症/AIDSケアの担当看護師(候補者を含む)で、研修修了後も継続的に看護等の実務担当者、指導者として携われる者。 ※ 応募者多数の場合は、以下の要件AとBの複数該当者を優先とします。 A. HIV/AIDS診療拠点病院の担当者 B. 各ブロック拠点病院が主催する研修の受講者
【募集人数】	看護師:2名程度
周産期・小児医療コース(年1回開催)	
【概要】	HIV感染女性の妊娠・出産および小児の診療・ケアに特化したコースです。
【対象者】	勤務先医療機関において、主としてHIV感染者の診療(看護・服薬指導)や対策に携わる医療職(医師・助産師・看護師・薬剤師等)で、受講後も継続的に実務担当者として携われる者。
【募集人数】	全職種:計40名
地域支援者コース(年1回開催)	
【概要】	長期生存時代のHIV感染者の療養支援、医療機関との連携について学ぶコースです。
【対象者】	所属施設でHIV感染者の療養支援に携わる(携わる可能性のある)実務担当者。
【募集人数】	全職種:計40名

2. 開催日程と応募締切

コース名	開催日程	応募締切
1週間コース	① 2018年06月04日～06月08日 ② 2018年07月02日～07月06日 ③ 2018年09月10日～09月14日 ④ 2018年10月01日～10月05日	① 2018年04月20日(金) ② 2018年05月11日(金) ③ 2018年07月13日(金)* ④ 2018年07月13日(金)*
歯科コース	① 2018年06月04日～06月06日 ② 2018年07月02日～07月04日 ③ 2018年09月10日～09月12日 ④ 2018年10月01日～10月03日	① 2018年04月20日(金) ② 2018年05月11日(金) ③ 2018年07月13日(金)* ④ 2018年07月13日(金)*
短期コース	① 2018年06月04日～06月05日 ② 2018年07月02日～07月03日 ③ 2018年09月10日～09月11日 ④ 2018年10月01日～10月02日 ⑤ 2019年01月24日～01月25日	① 2018年04月20日(金) ② 2018年05月11日(金) ③ 2018年07月13日(金) ④ 2018年08月17日(金) ⑤ 2018年12月07日(金)**
アップデート コース	2018年09月28日	2018年07月13日(金)
1ヶ月コース	要相談 ※ 最初の1週間は「1週間コース(看護師)」と 合同で行います。4週連続での受講が難しい 場合には、受入時期の調整や研修日程の分 割など御相談に応じますので、早めにお問 合わせください。	日程調整の関係上、ご希望 の方は早めにご相談下さい
周産期・小児 医療コース	2018年11月02日	2018年09月07日(金)
地域支援者コース	2018年10月12日	2018年08月24日(金)

※ 第3回・第4回の1週間コース／歯科コースの応募締切*は、従来より前倒しとなっておりますのでご注意ください。

※ 例年、第3回・第4回に希望者が集中することから、やむを得ず受講をお断りしなければならない場合があります。可能な方は第1回・第2回の受講をご検討ください。

※ 9月以降に開催するコースは、締切後に欠員が生じた場合など追加募集を行う可能性があります。追加募集を行う場合には、7月16日以降に随時ACCウェブサイトでご案内いたします。掲載されていない場合でも、枠の余裕状況により若干名の受け入れが可能となる場合もありますので、ご希望の方は早めにご相談ください。

※ 短期コース第5回**は、国立病院機構本部が主催する「HIV感染症研修会」と同一内容です。北海道・東北ブロック・関東甲信越ブロックに所属する国立病院機構施設の職員は、別途同機構本部において募集する研修会に応募して下さい。

3. 申込方法

- ① ACC 公式ウェブサイト(<http://www.acc.ncgm.go.jp/index.html>)の「研修のご案内」ページから、研修申込書(ApplicationForm2018.xlsx)をダウンロードしてください。
- ② 必要事項を入力、印刷のうえ、所属施設長(各都道府県単位でとりまとめ申し込みされる際はその役職者)の公印を押印した申込書を郵送でご提出ください。
原則として締切日必着です。事情でどうしても難しい場合は早めにご相談下さい。
- ③ 併せて、事務登録手続きのため、入力済みの Excel ファイル(1-2 ページ(公印不要))をメール添付でお送りください。(メール送付先: seminar@acc.ncgm.go.jp)

[注意事項]

- ※ 応募封筒には「エイズ治療・研究開発センター研修申込書 在中」と朱書してください。
- ※ 受入の可否は、当該研修開始の1ヶ月前までに、各申込施設長宛に文書で通知します。
- ※ 各コースとも、受入人員については申込状況に応じ増減調整をする場合があります。
- ※ 1週間コース、歯科コース、短期コースの申込については、各回の応募期限内に到達した申込書により当該回の選考を行い、当該回の選考に漏れた場合は、次回の選考に組み入れます。
- ※ 複数のコース(例:1週間コースと周産期・小児医療コース)の受講をご希望の方は、コース毎に申込書を作成して下さい(郵送はひとつの封筒で構いません)。
- ※ 受講が決定した方には、名札・受講者名簿作成のため顔写真データの送付を依頼します。詳細は受講決定通知書の送付時にお知らせします。
- ※ 申込書に記入いただいた個人情報、受講者選考および各施設への受入可否連絡と、必要時の御本人への連絡の目的以外に使用することはありません。
- ※ Microsoft Excel を利用できない環境にある方はご相談ください。
- ※ その他不明な事項については、研修相談係にお問い合わせください。

4. 研修参加費など

無料 (ただし、研修に係る旅費交通費、宿泊費等については研修生負担となります)。

- ※ エイズ拠点病院職員における旅費(交通費、宿泊費)申請等については、所属施設または都道府県等のエイズ対策業務担当課に確認してください。

5. テキスト・必要資料

テキスト等必要資料は研修開始時に配布します。

- ① 研修参加にあたっては、自施設における HIV 感染症診療の状況の概要を把握するとともに、専門用語(疾患名・薬剤名とその略称)についても各自ある程度の予習をお願いします。
- ② 医療職の方におかれましては、以下の2種類の日本語ガイドラインに簡単に目を通していただくとともに有用です(いずれも PDF を無料でダウンロードすることができます)。
厚生労働省研究班「抗 HIV 治療ガイドライン」 <http://www.haart-support.jp/guideline.htm>
日本エイズ学会 HIV 感染症治療委員会「治療の手引き」 <http://www.hivjp.org/>
(両資料とも膨大な内容ですので、予習としての精読は不要です)

6. 修了証（受講証）について

研修受講者には、最終日に修了証（一部コースでは受講証）を授与します。

※ ACC 研修の各コースは、日本エイズ学会「学会認定医・指導医」、同「認定 HIV 感染症看護師・認定 HIV 感染症指導看護師」における「指定の研修会」に該当し、各コースの修了者は、受講時間に応じて認定取得・更新の際に必要な単位を取得できます。詳細は日本エイズ学会のウェブサイト(<http://jaids.umin.ac.jp/>)でご確認下さい。

※ 1 週間コース、短期コース、アップデートコースは、日本病院薬剤師会が認定する HIV 感染症薬物療法認定薬剤師の認定申請資格（6）HIV 感染症領域の講習会に該当します。詳細は日本病院薬剤師会のウェブサイト(<http://www.jsph.or.jp/>)で御確認下さい。

7. 研修会場・問合先・申込先など

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター医療情報室 研修相談係
<http://www.acc.ncgm.go.jp/index.html>

TEL 03-5273-6829(直通)/03-3202-7181(内線 2323/4848)

FAX 03-3208-4244(直通)

E-mail: seminar@acc.ncgm.go.jp

国立国際医療研究センターへのアクセス：<http://www.ncgm.go.jp/access/#center>

[注意事項]

- ※ 個人情報および受講可否決定経緯などに関する内容はご回答いたしかねます。
- ※ 電話でのお問合せは、原則として平日 10:00～12:00、14:00～16:00 でお願いいたします。
- ※ E-mail/FAX でのお問合せは 24 時間受け付けておりますが、ご回答は原則として翌日以降となりますのでご了承ください。
- ※ お問合せ時は必ず所属施設名、氏名、連絡先をご連絡ください。
(連絡先の記載がない場合は返信(回答)できないことがありますので、忘れずをお願いします)

8. 「易感染性患者入院診療科病院実習誓約書」の提出について

※ ACC 研修参加者には、研修開始までに誓約書(当院書式)を提出していただきます。
「易感染性患者入院診療科病院実習誓約書」
…病棟・外来での実習が含まれるコース(1 週間コース/歯科コース/1 ヶ月コース)
「国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター(ACC)研修誓約書」
…病棟・外来での実習が含まれないコース(短期コース/歯科コース)

※ 誓約書の書式は各コース受講決定者に決定通知と併せて送付します。(書式次頁以降参照)

【参考資料】易感染性患者入院診療科病院実習誓約書（受講決定時に送付します）

国立国際医療研究センター病院長 大西 真 殿

私、_____ 所属 _____ は、
 今回の貴センター貴科での病院実習に関し、以下の諸項目を遵守する事を誓います。いずれかに違反することがあれば、実習（見学）が中止となっても異議ありません。

本人署名 _____ 署名日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 実習期間（予定） 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 （第一希望の実習期間を記入のこと）

記

1. 国立国際医療研究センターでの病院実習に際し、個人情報の秘密厳守が生じる事を理解し、その情報を一切外部へ持ち出さない事を誓います。
2. 国立国際医療研究センターの各診療科では、原疾患及び加療等により、易感染性患者が多数入院されている事から以下の病院内感染症伝播防止対策を病院実習中に厳守する事を誓います。
 - ・実習中に、私が病原体の伝播者（不顕性感染者を含む）となる事を防ぐため、以下のウイルス抗体価測定またはワクチン接種を病院実習前に行い、有意な抗体価に至った事を確認しました。
 - ※抗体価に至るとは、①下記の基準による抗体陽性、または②ワクチン接種歴が2回ある場合

抗体検査・ワクチン接種状況等（必ず該当する部分に○をつけて下さい）

	抗体結果 検査日	抗体陽性基準	ワクチン 接種歴（1）	ワクチン 接種歴（2）
麻疹	陰性・陽性 年 月 日	EIA 法 16 以上 (PA 法 1:256 以上)	未・済 年 月 日	未・済 年 月 日
水痘	陰性・陽性 年 月 日	EIA 法 4 以上 (IAHA 法 1:4 以上)	未・済 年 月 日	未・済 年 月 日
風疹	陰性・陽性 年 月 日	EIA 法 8 以上 (HI 法 1:32 以上)	未・済 年 月 日	未・済 年 月 日
流行性 耳下腺炎	陰性・陽性 年 月 日	EIA 法 4 以上	未・済 年 月 日	未・済 年 月 日

※ 必ず抗体価および抗体価の検査方法の記載がある抗体検査証明書を取得し、その写しをこの誓約書に添付してください。★抗体価の検査方法は、原則として EIA 法とします。

※ 記載された検査結果が検査限界未満（陰性）であった場合には 2 回（1 回目と 2 回目を 28 日以上あける）、陰性ではないものの基準以下の場合には 1 回のワクチン接種を実施していただき、接種日を記載してください。

- ・発熱、発疹、呼吸器症状（咳、痰など）の出現時には、病院実習を自主的に控えます。
- ・活動性の感染症疾患に罹患している際には、病院実習を行い得ない事を了承します。

3. 実習期間中の疾病及び事故については、個人の責任において対処します。
4. 実習期間中に施設、器物等を毀損した際、損害を賠償する義務を負います。

【参考資料】 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター(ACC)研修誓約書

国立国際医療研究センター病院長 大西 真 殿

私、 _____ 所属 _____ は、
今回の貴院での研修に関し、以下の諸項目を遵守する事を誓います。いずれかに違反することがあれば、研修（見学）
が中止となっても異議ありません。

本人署名 _____ 署名日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
研修期間（予定） 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ～ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

記

1. 国立国際医療研究センター病院での研修に際し、個人情報秘密厳守が生じる事を理解し、その情報を一切外部へ持ち出さない事を誓います。
2. 研修期間中の疾病及び事故については、個人の責任において対処します。
3. 研修期間中に施設、器物等を毀損した際、損害を賠償する義務を負います。
4. 研修期間中に発熱、発疹、呼吸器症状（咳、痰など）出現時には、研修（見学）を自主的に控えます。また、活動性の感染症疾患に罹患している際には、研修（見学）を行ない得ない事を了承します。